

Lesson 5

全4時間 / 7月 / 教科書 pp.24-27, 88-89

I want to see the Milky Way.

短冊に願いを書こう。

1 単元目標

- 夏の大三角や七夕の物語を理解することができる。また、音声や写真をもとに文を読んだり、ルールに気をつけながら文を書いたりすることができる。
- 夏休みにしたいことを発表することができる。
- 他者に配慮しながら、夏休みにしたいことを発表しようとする。

2 言語材料

- I want to go to [see / eat / play / enjoy / read] ~ .
- What color do you want? I want a blue one (= 短冊). [A blue one, please.]
- 書くルール (大文字で書き始めること, 分かち書きなど)

【既出】 He [She] is ~ . **5年L6** 助動詞 can **5年L4** **6年L3** July 7th **5年L2**

Here you are. Thank you. **5年L8**

3 単元観

英語の聞き取りに際し、多くの児童が聞き知っている七夕伝説を選んだことで類推しやすく、意欲的に取り組むことができる。また、4年生で学んだ理科の学習内容や音楽と関連づけて教科横断的に学びを深めることができ、夏休み前に七夕の短冊で願いを表現するという無理のない流れになっている。

「文字に慣れよう」では、単元を通して児童が十分に慣れ親しんだ I want to ~ . の文についても友だちの作品を推測して読んだり、文の書き方のルールを学んだりする。

4 領域別目標と学習指導要領との関連

聞くこと	夏の大三角や七夕の物語を聞いて、おおよそ理解することができる。	ウ
読むこと	慣れ親しんだサイトワードを識別したり、友だちの書いた短冊を、推測しながら読むことができる。	イ
話すこと (やり取り)	欲しい色の短冊について、伝え合うことができる。	ア
話すこと (発表)	夏休みにしたいことを発表することができる。	イ
書くこと	例を参考にしながら、書き方のルールに沿って夏休みにしたいことを書き写すことができる。	イ

5 単元計画

◆=目標, 【 】=紙面にある活動

時	目標と主な活動	評価の観点
1	<p>◆夏の大きな三角や七夕の物語などを聞き、おおよそ理解できる。</p> <p>【 Let's Listen 1 】 p.24 ・夏の大きな三角についての説明を聞く。</p> <p>【 Let's Listen 2 】 p.25 ・七夕の物語を聞く。 ・この単元で、夏休みにしたいことを表現することを学ぶ。</p> <p>【 Let's Sing 】 p.25 ・曲のイメージをつかむ。『きらきら星』の歌詞と比べる。</p>	<p>夏の大きな三角や七夕の物語を理解しようとしているか、次時と合わせて評価する。</p>
2	<p>◆夏休みにしたいことを表す表現に慣れ親しむ。</p> <p>【 Let's Play 1 】 p.26 ・I, you, he, she, we, theyの意味を知り、ジェスチャーで表す。</p> <p>【 Let's Play 2 】 p.26 ・I want to ~.の言い方を知り、各カードの意味と言い方を知る。 ・ポインティング・ゲームをする。</p> <p>【 Let's Read and Write 】 p.27 ・夏休みにしたいことを考えて、書き込む。</p>	<p>夏休みにしたいことを決め、例文を参考に書くことができる。〈書き込み点検〉 思・判・表 主</p> <p>書くことイ</p>
3	<p>◆例文を参考に、夏休みにしたいことを書いて発表できる。</p> <p>【 Let's Try 】 p.27 ・I want to ~.の言い方を復習する。 ・前時に書いた願いを短冊に書き写す。 ・短冊に書いた願いを発表する。</p>	<p>夏休みにしたいことを書き写し、欲しい色の短冊について伝え合ったり、発表したりすることができる。〈行動観察・書き込み点検〉</p> <p>思・判・表 主</p> <p>話すこと(やり取り)ア</p> <p>話すこと(発表)イ</p>
4	<p>◆文を読んで書くことができる。</p> <p>【 Let's Sing 】 p.88 ・Jingle 2を歌う。</p> <p>【 1 】 p.88 ・英語を聞いて、聞こえた単語に○をつける。</p> <p>【 2 】 p.89 ・短冊を読み、内容に合う写真を選ぶ。</p> <p>【 3 】 p.89 ・書き方のルールに気をつけながら、文を書く。</p> <p>*サイトワード：見るだけですぐに理解できることが望まれる語を指す。I, you, what, who, he[shel], where, my, a[an], and, forなど、文を読むのに必要最低限の機能語。</p>	<p>慣れ親しんだサイトワード*を聞いて識別できる。〈書き込み点検〉</p> <p>知・技</p> <p>友だちの書いた短冊の内容がおおよそ理解できる。〈書き込み点検〉</p> <p>思・判・表 主 読むことイ</p> <p>書き方のルールに気をつけて文を書くことができる。〈書き込み点検〉</p> <p>思・判・表 主</p> <p>書くことイ</p>

6 各活動の評価規準項目一覧

	知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む
聞くこと			
読むこと	文字1	文字2	文字2
話すこと(やり取り)	LT	LT	LT
話すこと(発表)	LT	LT	LT
書くこと	LRW, 文字3	LRW, 文字3	LRW, 文字3